

閉校記念誌

ながたに

豊後大野市立長谷小學校



## 学び舎に万感を込めて

閉校記念事業実行委員長 渋谷 誠治

わが長谷の中央に毅然と聳ゆる学び舎は、天地と共に揺るぎなきと謳われた長谷小学校は、今ここに幕を閉じることとなりました。長谷地域の学校教育の学び舎として明治二十二年に長谷簡易学校として開設されました。

昭和六十三年に開校百周年を祝賀されたところでありました。今年度迄の卒業生は四千十一人でありまして幾多の人材を輩出してまいりました。昭和五十五年に教育後援会が発足し、故人となられました穴見豊之先生が初代の後援会長を務められました。そうした中にありまして当時も悩み事がありまして複式学級になるのではないかと云う事で私に転校の要請がありました。私共が通勤の関係で犬飼小学校に通っていた五年生と四年生の子どもを昭和五十六年より長谷小学校に転校させて、複式学級にならなかつた事を覚えております。時代は流れ、平成十九年度より白石良安会長の後を受けて長谷小学校の教育後援会長をおおせつかり、今日に至った訳であります。しかし平成二十年九月六日付の大分合同新聞で二〇〇九年度末を以つて長谷小学校は閉校とし、二〇一〇年四月から犬飼小学校へ統廃合と云う事が発表されました。もとより寝耳に水であり、大変びっくりしたところですが、教育委員会の説明では、児童数の減少への対応を目的と云う説明でありました。それからこのことについてどのように対応したら良いか保護者と協議がもたれましたが、PTAとしては絶対に存続してほしいと云う意見が大半を占めていました。そうした中、保護者としても自治

会としても、ましてや後援会としても受け入れ方について、どのような方法が良いか協議を重ねました。結論として地域の皆様方の意見を聴取した方が良くと云う事となり、地域の全員にアンケートを実施しました。その結果六十八パーセントの方々が統廃合やむなしと云う意見が多数でありました。過疎化・高齢化・少子化の中で切磋琢磨しながら、教育と云う面から地域の皆様方は、より良い環境を造って行こうと一生懸命に献身的な努力をしてまいりました。又後援会といたしましても子供達の健全育成のために、いささかの努力をしてまいりましたつもりではありますが、それに応える事も出来ず、統廃合已むなきに至った次第であります。閉校という憂き目となり、地域の皆様方の寂しさを痛感させられ断腸の思いであります。これまでの長谷小学校によせられた皆様方の永い間のご好意と教育に対するご支援ご協力に感謝申し上げますと共に、これからも教育に対する思いは統合後も不変でありますようお願い申し上げます。とんだ、はねた、走った、学んだ、子ども達はもういません。それぞれの時代時代に立派な教えをいただいた諸先生方に万感をこめてお礼を申し上げます。終りになりましたが閉校後の校舎跡地活用の事等にもお智慧をお願い致しますと共に、地域の児童が健康で人間性豊かに成長し社会の為になる様申し上げ、皆々様の今後益々のご健勝ご多幸を祈念申し上げます。いさつといたします。

ありがとう 長谷小学校



## ごあいさつ

PTA会長 原山英治

私たちの母校 長谷小学校は、開校百二十二年という長い歴史と伝統を守り地域とともに歩んでまいりました。

私の在学していた当時、校舎は現在の校舎でしたが、六年生は屋上にあ  
る教室でした。

六年生になった時屋上に上がれると嬉しかったことを思い出します。

現在の体育館の場所には講堂があり、雨の日の昼休みは講堂いっぱい児童があふれ、遊ぶ場所を確保するのにひと苦労していました。

授業では課外授業として、小学校の上にある旧中学校跡地に行ってみたり、今と同じように地域のお年寄りの方々の協力のもと、こま作りや、竹馬作りなどをした楽しい思い出もあります。

上級生は、下級生の面倒を見て、共に学び、共に遊び、共に成長してきました。それは今でもかわらず百二十二年受け継がれた伝統です。

学校が終わると家に帰りました学校に集まり、野球やカン蹴り、かくれんぼなどをした。そんな時代の中心が長谷小学校でした。

こんな長谷小学校も本年度をもって、犬飼小学校との統合によりその歴史を閉じようとしています……

今、親となり、学校行事、PTA活動にたずさわるなか、子どもたちを

見ると『私がやらないと』『僕がやらないと』という積極性を一年生から六年生まで一人ひとりがしっかり持ち、自分の考えを発表できるすばらしい子どもたちに育っています。

現在、全校児童十二名の長谷小学校ですが、自分の子どもたちをこの長谷小学校に入学させて本当に良かったと思います。子どもたちも、この長谷小学校が大好きだと思えます。

そしてこの長谷小学校で学んだ沢山のことを、この先の長い人生の中でいかしていつてもらいたいです。

明治、大正、昭和、平成の時代の中で、沢山の卒業生を送り出した伝統ある長谷小学校を卒業したことを誇りに思い感謝します。

最後にこれまで熱心な指導にあたっていただいた先生方、温かくときには厳しく見守り続けていただいた地域の方々、そして長谷小学校開校事業にあたり御協力をいただいた方々に厚く御礼を申し上げます。

ありがとうございました。

長谷小学校は、みな様の中でいつまでも

『我が長谷の中央に』

# 沿革

- 明治5年 8・3 近代教育の実施と推進を告げる「学制」の公布がなされた
- 明治6年 9 「大分県小学校規則」が定められ、「学制」による学校を設置することとなる
- 明治8 11 柴北村に柴北学校を設立
- 明治19年 4 栗ヶ畑村に栗ヶ畑学校を設立
- 明治20年 4 「小学校令」公布
- 明治22年 4 柴北学校、栗ヶ畑学校を統合し、黒松村簡易学校を設立した
- 明治25年 4 長谷簡易学校と改称する
- 明治27年 3 「小学校令」の改正により、長谷尋常小学校と改称する
- 明治33年 6 第一回生四名が卒業
- 明治40年 6 校舎を新築し、補習科（二年）を併設
- 明治42年 4 「小学校令」が改正され、尋常小学校の義務制が六年となる
- 明治43年 4 高等科を併設し、長谷尋常高等小学校と改称する
- 大正2年 10・8 増築校舎成り、落成式を挙げる
- 大正3年 4 本校同窓会が設立される
- 昭和3年 10 長谷村補習学校を併設する
- 昭和3年 1 運動場を拡張
- 昭和10年 4 多年の念願であつた新校舎が落成
- 昭和16年 4 補習学校と青年訓練所とを合併して、長谷村青年学校と改称する
- 昭和17年 1 長谷村国民学校と改称する
- 昭和20年 8・15 二宮尊徳像除幕
- 昭和22年 4 終戦、戦後の苦しい時代が始まる
- 昭和23年 4 国民学校制度が廃止され、六・三制の新教育制度が実施される
- 昭和26年 3・2 長谷村立長谷小学校と改称
- PTAの発足、PTA研究発表会を行う
- 学級増が認められ、五年を除き全学年二学級計十一学級編成となる
- ピアノを購入（十六万円）学芸会でピアノ開きをする

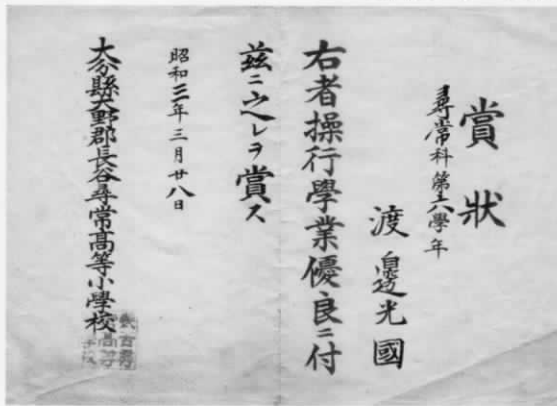


昭和12年 長谷村役場



大正15年 通信簿

昭和3年 賞状



昭和63年 5

昭和26年	3	10
昭和30年	3	
昭和36年	2	25
昭和40年	12	7
昭和42年	4	
昭和46年	9	6
昭和47年	1	
昭和48年	10	27
昭和49年	12	16
昭和53年	7	1
昭和55年	9	6
昭和57年	9	12
昭和58年	5	9
昭和59年	11	29
昭和60年	11	6
昭和62年	7	15
昭和63年	2	10
	2	28

修学旅行が再開され、大分・別府方面に一泊二日の日程で出かける

町村合併により校名変更「犬飼町立長谷小学校」と称する  
校旗・校歌制定式（校歌作詞 藤原信・作曲 後藤初男）  
郡・県指定道徳教育研究発表会

長谷中学校が犬飼中学校に統合されたため、中学校の校舎に移転する

旧校舎を取り壊す

待望のプールが竣工。六年生全員が泳ぎ初めをする

長谷駐在所を借用して図書館を設置

特別教育活動「学級会の運営について」の研究発表会

屋上に普通科教室を増設並びに理科室の改造完工

スポーツ少年団結成

長谷地区教育後援会（会長 穴見豊之）が発足

長谷小学校みどりの少年団結団式

みどりの少年団（五年生）全国野鳥保護の会に出席

学校経営研究会

郡音楽祭が三重町中央公民館で開催され全校児童が出演

郡育樹祭が三の岳で開催され、本校みどりの少年団が表彰される

教育後援会総会が開かれ、長谷小学校開校百周年記念祭

実施について検討する

屋内体育館が竣工（総工費一億三、六〇〇万円）

開校百周年記念碑竣工

開校百周年記念日

記念式典

校区民・同窓生・来賓約七〇〇名が参加

好天にも恵まれて盛会であった

記念碑除幕

祝賀会

記念行事（神楽・獅子舞・餅つき・バザー・模擬店）

タイムカプセルを記念碑台座の中に入れる

（二十年後に取り出す）

百周年記念誌発行



昭和62年 音楽祭

昭和12年 秋季大運動会



昭和63年	9・17	タイムカプセル収納
	10・2	久住山、親子登山
	11・15	同和教育研究大会 犬飼大会
平成元年	4・26	体育館・特別教室 落成式
平成2年	7・2	集中豪雨、体育館裏側崖崩壊
	11・12	天皇即位の礼、学校休日
平成3年	1・28	児童用遊具(すべり台、ロッククライミング) 設置
	7・26	本館西側旧図書館取り壊し(元の駐在所)
	8・9	本館西側駐車場完成
	9・14	台風のため臨時休校
	11・7	郡音楽祭に参加
平成4年	11・10	郡音楽祭に1〜4年生参加
	11・11	校舎竣工式(本館改装工事)
平成5年	11・15	教育夜なべ懇公開講座
	10・25	プール起工式
平成6年	11・8	郡音楽祭に参加
	3・30	校舎裏まわり舗装開始
平成7年	1・19	プール竣工式
	7・29	長谷っ子神楽発足
平成8年	11・22	長谷っ子神楽、ふるさと文化祭に初出場
平成9年	10・23	郡同和教育研究会指定研究会(一年次)
	11・7	郡同和教育研究会指定研究会(二年次)
	10・23	芋掘り大会
平成10年	2・27	郡音楽祭に参加
	10・6	シイタケ駒打ち体験
平成11年	10・24	運動場砂場設置
	10・24	文部省指定「豊かな心を育む教育推進事業」公開研究発表会
平成12年	4・23	あすなろ平成塾収穫祭五年参加
	3・22	卒業記念樹として桜木五本植樹
	11・7	全国植樹祭六年参加(大野町)
	10・22	あすなろ平成塾交流会(バス遠足)
	11・22	郡音楽祭参加(四〜六年)
	11・22	裏山防災工事開始(後期) 〓三月完了



平成9年 三ノ岳キャンプ



昭和63年 久住山親子登山



平成3年  
旧講堂にて

平成13年	12・5	APU（立命館アジア太平洋大学）との交流
平成14年	1・31	県教育センターとオンライン化のために光ファイバー工事完成
	7・25 26	みどりの少年団のつどい参加（のつはる少年自然の家）
	8・4	鶴見岳親子登山
	8・23	運動場整地作業（柴北 羽田野今朝夫氏寄贈）
	11・29	親子盲導犬体験学習
平成15年	2・8	ナイトハイキング（大分駅↓犬飼駅）
	5・24	第三回豊かな国の森作り大会（みどりの少年団）（宇目町 郡小中音楽祭出場）
平成16年	2・1	六年田ノ浦ハイキング（別府↓大分）
	11・14	ワイドプロジェクト等視聴覚機器一式寄贈
		※大塚正信氏（町内山内出身）より
		「人権の花」運動指定書交付式
		台風一八号のため臨時休校
		台風二一号のため臨時休校
		台風二三号のため臨時休校
		犬飼町バイパス開通式
平成17年	4・14	基礎・基本定着状況調査（五年）始まる
	6・30	第一回学力向上会議
	11・15	森林学習会
	11・18	APUわくわく体験学習
	12・6	石橋造り体験（NTT西日本）
平成18年	5・16	子どものためのクラシックコンサート
		※職員室にパソコン設置（全職員）・RUN化完了
平成19年	4・24	全国学力状況調査（六年）始まる
		第一回豊後大野つ子市議会
平成20年	9・11	統廃合に係る教育委員会保護者説明会
	8・21	クロネコヤマト環境・運輸教室
平成21年	3・4	統廃合協議会



平成14年 鶴見岳親子登山



平成13年 運動会



平成14年  
みどりの少年団